

令和3年度

学校関係者評価報告書
(中 間)

令和3年 9月29日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和2年度の学校運営や教育活動等につきましても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価を行うこととしており、中間の結果を令和3年9月24日に報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和3年9月27日に第1回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和3年 9月29日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
社会医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局次長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 令和3年 9月27日 (月) 14:00~15:10

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和3年度自己点検・評価報告 (中間)
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 川端委員長挨拶

今年度中間の学校自己評価をふまえ、各評価項目に係る委員の意見等を本校の運営上の改善に反映させたい旨の内容。

2) 事務局（学校長）挨拶

学校の運営状況（特に学生募集関連）説明。学校案内を提示、本委員会（教育課程編成委員会含む）の意見、改善事項が、本校の特色づくりにも生かされており、今回も各委員の評価をふまえ、具体的な改善に努めていきたい。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

(1) 学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>

※精度の向上、改善への意識づけ、取組の強化を意図した変更及び追加内容等

(2) 令和3年度中間評価報告 <事務局：学校長>

- ・教育活動及び学校運営に対する教職員の意識づけ
- ・より一層の経営改善
- ・感染症拡大による評価活動の取組への影響
- ・教員の自己評価による授業の改善
- ・資格取得（体制）状況
- ・退学、退職（卒業生支援）の状況
- ・感染症予防に係る対応（オンライン活用、PCR検査補助等）
- ・学生募集、財務状況関連
- ・特別講座、絵本展示会等の社会貢献

※以上、評価項目に沿った報告内容を抜粋して記載

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載

(1) 坂口委員 (項目5、項目10)

- ・就労に関する価値観、ワークバランスの変化等もあり、若い人材が来ない。「介護のおもしろさ」等を伝えたい。
 - 事務局 : 学生募集だけでなく、一般向けの特別講座等、さらに充実させたい。

(2) 川端委員 (項目2)

- ・教職員のストレスへの対応について、どのような取組があるか。
 - 事務局 : 毎年、ストレスチェックを実施 (個別相談含む)。
学生指導及び保護者対応等、科会、科長会、教職員会議で情報を共有し、必要があれば管理職が入り支援している。

(3) 川端委員、牧野委員、坂口委員 (項目5)

- ・仕事の定着、離職 (希望) 者への対応について
 - 新卒、訓練生に限らず、短期間 (1年未満) での離職は、施設等の運営や人材確保にも影響がある。
 - 試用期間、職場内部の状況を丁寧に把握し就労の継続につなげたい。
 - 特に1年以内に退職の意向がある場合、まず学校に行き相談する旨等伝えている。情報交換等、養成校との連携も密にしていきたい。
 - 転職が多く、就労期間が短いと再就職にも不利になる。
 - 事務局 : 就職指導、卒業生支援で各事業所との連携を強化したい。

(4) 牧野委員 (項目6)

- ・実習等の要件にもなっているPCR検査等の費用について、同窓会の支援得てはどうか。 ※川端委員 (前同窓会会長) も同意
 - 坂口委員 (同窓会会長) : 次回役員会で検討し善処したい。

(5) 牧野委員 (項目8)

- ・新規 (収益) 事業の導入について
 - 「L I F E」 (科学的介護情報システム : 厚労省、介護報酬加算) やBCP導入に伴い、有料のライブセミナーを開催してはどうか。
※制度内容等確認、検討

(6) 井畑委員 (項目10) ※ボランティアの参加状況をふまえ

- ・コロナ禍でも、各ボランティアサークルや障害者サポートセンターへの登録や個々の活動に参加できる。
 - 事務局 : 本校でのボランティア説明会等、社協との連携等による自主的な活動について検討したい。
- ・今後も、感染症の影響、流れは変わらず、教育活動や学校行事、ボランティア活動等の地域貢献の在り方について検討し、変えていく必要がある。
 - 事務局 : 本年度の状況をふまえ、独自の取組等、対応していきたい。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や改善に係る意見を教育内容の改善や学校運営等に活かしていただきたい。

※ [教育活動] [学修成果] [学生の受け入れ募集] [法令等の遵守]について直接的な意見等なかった。

※ 厳しい募集状況（入学者減）と人材確保、本校や各職種の社会的評価に関連する意見が散見された。

以 上